

KBI NEWS



〒630-0266
 奈良県生駒市門前町 22-1
 TEL: 0743-70-8600
 FAX: 0743-70-8601
 編集・発行人: 高橋めぐみ
 郵便振替: 01140-6-67708
 銀行: 尼崎信用金庫上ヶ原支店普通 0015453
 Eメールアドレス: kbi-mark117@ares.eonet.ne.jp
 ホームページ: <http://www.kbiwave.com>

祈り、種を蒔く

学院長 高橋めぐみ



前学院長の大田裕作先生からバトンを受け取り、新体制で二〇二〇年度がスタートしました。想定外の新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、先が読めない出発でしたが、新入生十四名が加えられました。今日まで進んで来ることができたのは主の恵みと、素晴らしいスタッフ、理事・教師の先生方、

学生達とのチームワーク、そして背後の祈りがあったからだと思ふに感謝しております。

コロナ禍で今年の三週間コースは中止になりましたが、テーマは「福音の感染力、インフルエンサー」でした。新型コロナウイルスが世界中に拡がり、コースが中止になり悔しい思いをしました。しかし武漢からウイルスが私たちの近くまで迫ってきたことを通して、まさに「感染の拡がり」というものを実感しました。また、今回オンライン授業や在宅での礼拝を行ったことによって、今までの私たちの領域が広げられたように思います。これから新たな宣教の御業が広がっていく期待感があります。

今年度のKBIの標語は「祈り、種を蒔く」です。世界が大きく変えられているこの時に、福音の種が蒔かれる必要を益々感じます。種蒔きの例え話を読むと、種には大きく成長していく力強い「いのち」が秘められ

ていることが分かります。種は岩地に落ちる事もありますが、良い地に落ちるなら人生は変えられる、その人を通してさらに多くの魂が救われるのです。

この種蒔きと関係して、私がインドネシアで教えられた事は「祈り」でした。未伝部族に伝道に出かけて行く前、現地の人達とは本当によく祈って備えます。時には繰り返しの祈りにも思えるような祈りの積み重ねをします。そして実際に出かけて行った時には不思議な出会いがありました。福音を伝えるには、ちょうどこの時！という「チャンス」に導かれるのを見てきました。使徒の働きの世界を身近に感じるようでした。

これから世界はどうなっていくのでしょうか。私たちには先が見えませんが、確実に計画を遂行される主の御業を、KBIでも祈りと種蒔きをしつつ見ていきたいと願っています。





2020年度
オンライン
入学式



新入生の皆さん ご入学おめでとうございます。
 今年度は、新型コロナウイルスの影響で
 新入生の兄弟はオンラインでの参加となりました。
 5月中旬まで、在宅でのオンライン授業を受けました。
 主の豊かな恵みと祝福が注がれていることを感謝します。

舎監就任の挨拶

富浦 信幸

この度、KBI舎監に就任しました二〇二二年度卒業生の富浦信幸です。JEC国分福音教会に仕える中で、KBIで教えられたことをその通り地域に、また人の中に『出て行って』実践してきました。多くの出会いが与えられ、主の憐みにより国分の地で宣教が広がっていきました。

昨年六月に舎監のお話をいただいた時には、「今の現場を離れたくない」というのが私の心の第一声でした。その後、祈る中で語られた主の声は、「わたしに返さないで」というのが私の心を手放します」と祈った私の両手に、主は御言葉を通して舎監の召しを握らせてくださいました。

第一コリント二章九節「目が見たことのないもの、耳が聞いたことのないもの、そして、人の心に思い浮かんだことのないもの。神を愛する者のために、神の備えてくださったものは、みなそうである。」宣教のカギは

「器」です。KBIの真骨頂はこの『器づくり』。これまででも多くの器が輩出されてきました。そしてこれからもどんな器がつくられ、どこにどのような形で『G o i n t o』されていくのか、楽しみで仕方ありません。そして御言葉にある通り、見たことのない、聞いたことのない、心に思い浮かんだことのない宣教の御業が備えられている。本当に楽しみなことです。宣教の最前線に立つKBIを、高橋めぐみ学院長と共に、謙遜にかつ情熱を持って建て上げていきたいと思えます。ハレルヤ!



ZOOMで苦勞したこと・工夫したこと

新型コロナウイルスの影で、入学式と授業もオンラインになりました。ZOOM班として活躍した在校生のメンバーと、実際に自宅でZOOMの授業を受けた一年生の感想をご紹介します。

●在校生

- ・ZOOMで入学式や授業を行うことは、全く予想していませんでした。昨年度の卒業式をYouTubeで行ったため、オンライン発信のための機材の多くが既に揃っており、神様の備えを感じました。(ZOOM班長・森島)
- ・入学式では、KBIでの会場の雰囲気、自宅で画面を見ている新入生にできるだけ伝えることができるように、カメラワークをしている小池さん



- んと絶妙なタイミングで画面を切り替えるように気を配りました。(スイッチャー・佐藤)
- ・離れた場所においても、一年生と共に神様を礼拝できるように心掛けました。また、撮影を通して自分の地境が広げられていきました。(カメラ・小池)
- ・私自身ZOOMを使うことが初めてだったので試行錯誤でしたが、自分と同じような初心者でも使い方が簡単に分かるように、説明することを心掛けました。(副班長・岩佐)

●一年生

- ・授業中に突然音声と画像が途絶えるなどのハプニングがありました。他の学生達がノート画像を送ってくれる等助けてくれたので、在宅でも仲間を近くに感じました。(竹内)
- ・ZOOMの授業でも感動して涙を流すこともしばしば(笑)。母が「KBIが家に来た!」と言ってくれました。在宅だからこそ学びを家族と分かち合う祝福を受けることができました。(平嶋)



入学式 (新入生は合成写真)

●二〇二〇年度 入学生 本科コース

- 大谷拓也 (可児福音教会)
- 岡田直樹 (南大阪福音教会)
- 岡本召栄 (在日大韓基督教団大阪教会)
- 姜希樹 (成田福音教会)
- 札場岩 (八尾福音教会)
- 矢田和明 (八尾福音教会)
- 川崎真奈 (狭山福音教会)
- 工藤登志子 (下北沢聖書教会ときわ会堂)
- 倉本みのり (八尾福音教会)
- 竹内優香 (家の教会こひつじ)
- 濱田沙織 (岬福音教会)
- 平嶋祐佳 (千代田福音教会)
- 宮内満歩 (京都シオンの丘キリスト教会)
- 山崎紫音 (雲井キリスト福音教会)
- 本科コース (二年編入)
- 寶生大輔 (千代田福音教会)
- 豊村恵悟 (上郡福音教会)
- CPRC (教会開拓・刷新コース)
- 岸田ゆかり (守山キリスト福音教会)
- 倉本直美 (姫路キリスト教会)
- 柴原真由美 (山の辺キリスト教会)
- 兵庫江美 (西宮ハウスチャーチ)
- 廣瀬志保 (関西学院教会)
- MTC (宣教師訓練コース)
- 太田行浩 (ヘブンスチャーチ)
- 八束慰也 (東京ライトハウスチャーチ)
- 山中実 (八尾福音教会)
- 辻井敏子 (岬福音教会)

KBIに導かれた証

一年 大谷 拓也



私は、もともと三週間コースに入学する予定でした。献身や宣教に召し出された人達の姿を見て、刺激を受け、学んでみたいという軽い気持ちでした。しかし、富浦信幸先生から電話で新型コロナウイルスの影響で三週間コースが中止になり、特別措置として本科生への編入ができる事を伝えられました。すぐにその事を牧師先生に相談しました。その時に牧師先生と信幸先生から「神様からの導きじゃないか？」と同じ事を言われま

した。

正直、それはちよつと考え過ぎじゃないかと思っていました。その日の夜「深みに漕ぎ出しなさい」と御言葉が与えられました。ただの勘違いだと思いましたが、なにより、KBIで本気で学ぶべき人は、クリスチャンホームの子どもや自分よりも聖書に詳しい人であり、私はまだ早いと思っていました。ただ、献身や召しに興味がなかった訳ではなく、牧師先生と何度か話をしたことはありました。しかし、その時は信仰に熱くなれていませんでした。あくまでも仕事を辞めたタイミングが丁度良く、好奇心でKBIに行きたいだけでした。

その日から何度も何度も御言葉が頭の中で連呼されました。神様に何度も「嘘ですよね？」と尋ねましたが、返答は「深みに漕ぎ出しなさい」でした。

不安しかありませんでしたが、御言葉によって揺るがない確信が与えられました。そしてきつと神様は僕に対する計画を準備しておられるのだなと思ひ、KBIに導かれました。

献身の証

一年 川崎 真奈



私はこれまで大学院で研究生活を送ってきました。昨年の夏頃、使徒八章で、ピリポがサマリヤ伝道の真つ最中、主の使いに「立つて南へ行き、エルサレムからガザに下る道に出なさい」と言われる箇所が心にとまりました。ちよつと私自身の人生の方向転換が促されているように感じました。そこでKBIという道も頭をよぎったものの、私の中にはずっと大きな抵抗がありました。一番の根幹にあったのは、自分がその道にふさわし

くないという思いでした。「信仰もすぐ揺らぐ、信じていても神様に喜ばれないことをしてしまふ、熱心に乏しく、『殉教します！』とは口が裂けても言えない：こんな状態ではだめだろう」と長い間葛藤しました。半ば逃げたい思いで海外の長期滞在なども考えましたが、ある時に「神の賜物と召命とは変わることがありません」という御言葉が心に響いてきました。イスラエルが背信の罪を重ねても、主の約束は変わらなかったように、「その道にふさわしいかを決めるのは自分ではなく神様なのだ」と視点が変わりました。

改めてKBIへの道を考えて時に、不思議と平安がありました。何度も揺れながら、ただ神様の哀れみと周囲の祈りの支えによって、無事三月に大学院を退学し、KBIに入学しました。不安もありますが、主権者であり、私たちを愛し良いものを拒まれない父なる神様が、驚くべき形でご自身の計画へ導き続けてくださると信じます。

特別講義 「福音の感染力」

三年 李勝煥

五月十五日に「福音の感染力」と題して、特別講義がありました。スィラバン先生と共に五人の方々に来られました。彼らは「福音隊」というチーム名で様々な伝道活動をされているということでした。この日はスィラバン先生を中心に、賛美、「福音隊」による証とメッセージがありました。賛美の時間で学んだことは、賛美は御言葉をそのまま歌詞にすればいいということでした。自分で賛美を作ろうとして、御言葉を自分の表現にすることによっても素晴らしい賛美になります。絶対に間違いのないのは、聖書の御言葉であるから、それをそのまま歌詞にすれば良いことを学びました。御言葉の暗唱の助けにもなり、日々の信仰生活の中で、御言葉を握り続けて生きることができるとは感謝なことだと思えました。

証を通して、「福音隊」の伝道の働きに感動しました。道端で御霊に導かれるままに人々に声をかけ、癒しを求める人には癒

しのために祈る。伝道の動画やシミュレーションもありましたが、人々に声をかけ、関係を作る第一歩の大胆さに励まされました。私は癒しのために祈る時、どのように祈ればよいかと考えてしまう時がありますが、シンプルに癒された！と宣言するだけで、多くの癒しの御業が起こったという証があり励まされました。伝道への熱いパッションを分かち合ってくださいました、スィラバン先生と「福音隊」の方々に感謝します！



MY STORY —KBI 生・オリジナルトラクト紹介—

二年 花城 有哉

自分の人生は本当に必要なものなのだろうか。そんなことばかり考えて生きてきました。自分よりもできる人がいて、「自分より優れた人がいるのなら、その人がやればいいじゃないか。自分がやる意味はどこにあるのか。」と思って、虚しさや惨めさばかりを感じていました。一番でなければ、やる意味はないと信じていました。他の誰かと楽しく遊べるのだから、自分を選ぶ必要はないのだ。自分の存在は、他人と代えられるもの。自分は、存在意義などないと信じていました。その一方で、自分よりできない他人を常に探していました。

「このわたしは、あなたを忘れない。見よ、わたしは手のひらにあなたを刻んだ。」

イエス様は、そんな空っぽな自分に出会ってくれました。私たちを救うために十字架にかかられました。2000年前の出来事が自分と関係があるのかと思っていましたが、はっきりと見せてくれました。「たとえ女たちが忘れても、このわたしは、あなたを忘れない。見よ。私は手のひらにあなたを刻んだ。」(イザヤ書 49章15、16節)

十字架にかかる時、大きな釘を刺されます。想像もできない痛みです。イエス様は、私の顔を浮かべて、私の名前を呼んで、釘を打たれたのだとわかりました。神様が一方的に私を思って、決して忘れないと、その手のひらに印を刻んでくださった。「こんな私」を探し出して、無条件に救い出してくださいましたイエス様に会いました。

それから私は、自分を無価値だと思うことはなくなりました。神様が自分を認めてくださっている。自分の人生は他の誰かに取って代わる、不要なものなんかじゃ無い。その価値は神様がその手に刻み込むほどに尊く、価値あるものだ。私の生き方は変わりました。

※トラクトより一部抜粋・編集



こうやって宣教しています

JEC八尾福音教会ホープチャペル
吉田 泰貴師

「忘年会しましょう。」昨年末、アドラムキリスト教会の野田先生から連絡があった。そこでNPO法人チェンジングライフの働きについて聞いた。少年院、鑑別所から出所した十代の少年達の自立支援サポートの話だった。親の名前を知らない子ども、家庭が崩壊し帰る場所のない子どももいる。

私は今、三名の少年と関わっている。毎週一人一人の部屋を訪問する。食事は彼らの口と心を開く。仕事のこと、過去の事件、家族関係などを話してくれる。兄弟とは会えない。父親が二人いる。弟だけ愛されて本人は捨てられている。親を本当に殺したいと思っている子ども達がいる。

共通していることは、みんなシングルマザーの家庭出身だということ。話を聞いているだけで胸が締め付けられる。「はよ起きなさい。ご飯できたよ。学校遅刻するで！」と言われたこと

がない子どもたち。全員、盗む、殴るは当たり前。

彼らは私に「なぜ牧師になったのか」と訪ねてくる。私は証をする。彼らは「十字架ってそんな意味だったんですね。キリストは教科書で見たことあります。でも初めてクリスチャンに会いました。」と話してくれた。

「初めて…」クリスチャンに会ったことがない人がまだまだ私たちの周りにいるに違いない。教科書の中のキリストから「私のキリスト」になる日を祈っている。
(二〇二二年度卒)



●週末奉仕教会●(母教会は除く)

一年生

- 大谷拓也(西宮福音教会)
- 岡本召栄(国分福音教会)
- 姜希樹(和歌山福音教会)
- 札幌岩(ヒルズチャーチ)
- 工藤登志子(松原聖書教会)
- 竹内優香(堺シオン福音教会)

二年生

- 神澤晏児(ベテル清水教会)
- 佐藤創(武生自由キリスト教会)
- 寶生大輔(大阪西成教会)
- 花城有哉(敦賀自由キリスト教会)
- 森田拓人(園田チャペル)
- 石井すみれ(川西福音教会)
- 瀬在曜子(狭山福音教会)
- 福井歩(野崎キリスト教会)

三年生

- 岩佐光(ニューライフキリスト教会)
- 山田愛也(国分福音教会)
- 深谷さおり(大阪日本橋キリスト教会)
- 山本静華(北鈴蘭台教会)

●大田裕作・伯子師【新住所】

〒六三〇一〇二六六
奈良県生駒市門前町十六一四七
TEL(〇七四三)八九一五六六三

ご献金感謝します

献金者名簿（日付順・敬称略）（2020.2.11～2020.5.25）（KBIへの直接献金分）

■一般会計献金

<KBIを支える会>

個人：南沢順子、福元玲子、安食弘幸、大田裕作、秋元清友、安黒務、黄金井尚美、門谷暁一、斎藤邦夫、岩本美保、伊達山洋子、兼松道子、豊村善典、安野清子、石崎政登、増永弘、高橋めぐみ、渡辺とも子、井野葉由美、菅沼威、川端黎子、松本伸一郎・亜紀子、赤尾いき子、熊本直美、鶴野英子、高橋昭市、田中憲昭、森本裕・真美子、大和田愛子、兼松千佳子、小山大三

教会 & 団体：鈴鹿キリスト福音教会、尾上聖愛教会、京都クリスチャンフェロシップセンター、東京チャペル、旭川神愛キリスト教会、ゴスペルチャーチ千里、京都シオンの丘キリスト教会、狭山福音教会、八尾南福音教会、可児福音教会、浜松汀キリスト教会、奈良福音教会、チャペル犬山、千代田福音教会、西可児キリスト教会、馬橋キリスト教会、久留米ベテルキリスト教会、垂水福音教会、北九州チャペル、さんだグレイスチャペル、岡山チャペル

<運営支援献金>

岐阜純福音大森チャーチ、美濃グレースチャーチ、岐阜純

福音教会、鶴見純福音教会、御殿場純福音キリスト教会、犬山キリスト純福音教会、ジャパン・ベサニー・ミッション、自由クリスチャン伝道団 (FCMF)、フィラデルフィヤグループ合同集会 (TPKF イースト)、保土ヶ谷純福音教会、小松ベタニヤ福音教会、伊勢原聖書キリスト教会

<特別献金>

1. 建設基金献金

個人：春名裕

教会 & 団体：岐阜純福音教会、秦野クリスチャンセンター

2. その他

個人：渡辺とも子、山崎睦子、片桐修、中原辰久、佐々木昭正、小田真夏、KBI女子寮学生

教会 & 団体：黒磯福音教会、活けるキリスト大阪一麦教会、多聞福音教会、喬木教会、

小森野キリスト教会、八木山聖書バプテスト教会

■奨学基金献金

個人：轟節雄、出原市子、竹川正英、大和田愛子

教会 & 団体：伊勢崎神愛キリスト教会

※KBIへの直接献金分のみ記載しています。各団体に献金してくださっている場合、教会名でなくその団体名を記載しています。どうぞご了承ください。

KBI2019 年度会計報告

(2019.4.1～2020.3.31)

①一般会計	(収入)	KBIを支える会献金	3,461,722	(支出)	維持管理費	13,889,051
		支援団体献金	15,783,856		経営費	11,223,792
		特別献金	4,172,546		人件費	26,070,750
		学生維持献金他	24,571,044		退職金引当金	3,000,000
		前年度繰越金	6,667,846		修繕積立金	—
		収入合計	54,657,014		予備費	—
					次年度繰越金	473,421
					支出合計	54,657,014
②奨学基金	(収入)	奨学基金献金	824,000	(支出)	奨学金支給	988,940
		前年度繰越金	3,008,113		次年度繰越金	2,843,173
		収入合計	3,832,113		支出合計	3,832,113

2018年度より「一般会計」と「建設会計」を統合しました。

それに伴い「建設基金献金」は一般会計の「特別献金」に移行しております。

新型コロナウイルス感染予防のため、
 食堂や教室では学生同士が
 距離をとって座るなどの対策をしました。
 そのような中でKBIで主日礼拝を
 捧げるようになりました。
 聖餐式をもてたことや、富浦先生の6人の子どもたちと
 青空のもと、CSができたことは本当に恵みでした。



特別賛美



● **KBI折りの課題**

- ・本年度の学院運営の必要が満たされるように。
- ・スタッフ新体制の学院を主が導いてくださるように。
- ・宣教の鍵となる次世代のリーダーが育っていくように。

● **OB・OG通信**

- ・堀伸行兄 IGA上野福音キリスト教会の新会堂建築が完了しました。皆さまの尊い献金を感謝いたします。(五月)
- ・紙野雄平兄 KBIでの一年間の事務職を終え、三月末に退職されました。現在開拓教会の準備中です。

● **報告**

事務の伊達山洋子姉が四月に退職されました。十四年の尊いお働きに感謝いたします。

● **大規模修繕工事進行中**

KBI施設は竣工以来、三十年目を迎えています。三月後半より十年振りの外壁塗装、屋上防水、初の屋根葺替え等、大規模修繕工事を進めています。途中、コロナ禍で一時中断も七月には完工予定です。生駒へ移転して十五年、装いを新たにすること学舎が、益々用いられることに感謝しています。(竹川正英事務長)

